

第1号議案 令和5年度事業報告書承認の件

令和5年度事業報告

令和5年度事業計画に基づき、奈良県をはじめ各関係行政機関、公益社団法人全国産業資源循環連合会（全産連）及び近畿地域協議会、公益財団法人日本産業廃棄物処理振興センター（JWセンター）等、関係団体と情報の共有及び連携を図りながら会員各位のご支援ご協力を得て各種事業を推進してまいりました。

また、本年度は新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが2類から5類へ変更され、許可講習会や研修会も変化に対応しながら実施する事が出来ました。

1. 産業廃棄物適正処理推進事業

(1) 適正処理推進のための協会員施設パトロールの実施

奈良県廃棄物対策課及び景観・環境総合センターと情報の伝達交流を図りながら、我々協会員として、適正処理の推進を図るとともに、平成10年度より協会員処理施設へのパトロールを実施しており、令和5年度も次のとおり実施した。

- ▶令和5年 9月14日 <北和地区>奈良市・生駒市・大和郡山市
中間処理場5カ所
- ▶令和5年10月25日 <中和地区>香芝市・田原本町・桜井市・宇陀市
中間処理場7カ所
- ▶令和5年11月21日 <南和地区>御所市・下市町・大淀町
中間処理場・最終処分場6カ所

をパトロールし、いずれにおいても自主的に適正処理を推進している旨を奈良県・奈良県警察本部にパトロール訪問結果報告書及び施設パトロール写真を添付して報告を実施した。

(2) 奈良県「不法投棄ゼロ作戦」推進キャンペーンに参画

不法投棄ゼロの環境を目指し県民・行政・警察・事業者が一体となって啓発活動を行い、不法放棄の撲滅と県民一人ひとりが自ら環境を守る意識を醸成し、資源循環型社会を推進することを目的としているキャンペーンである。奈良県・奈良県警察・奈良市・奈良県市長会・奈良県町村会・奈良県循環型社会推進協議会・(一社)奈良県建設業協会・(一社)奈良県解体工事業協会・奈良県一般廃棄物事業協同組合及び当協会が実行委員会が構成され、当協会会長が実行委員長に就いている。

実行委員長川崎会長のもと今年度は、令和5年11月6日～11月12日を「不法投棄ゼロ作戦」強化週間として全県的なキャンペーンが実施された。

令和5年11月5日に王寺町防災コミュニティセンター（いずみスクエア）において「不法投棄ゼロ作戦」啓発ポスター優秀作品表彰式を開催し、川崎会長より県内小・中・高生を対象に優秀作品等の表彰が行われた。

(3) 不法投棄物の撤去活動

春の観光シーズンを前に、みどり豊かな自然に恵まれ、国内有数の史跡を有する奈良県の景観を維持しようという目的で「大和路から不法投棄物をなくしましょう」をスローガンに、奈良県・奈良県警察本部の後援協力を得て、協会員と共に県下の市町村を対象に不法投棄物一斉撤去の支援活動を実施した。

- ▶令和6年1月29日 市町村ご担当に向けて不法投棄物撤去活動実施についての案内を送付
- ▶令和6年3月 1日 市町村より撤去要望の受付（橿原市商工経済会館7階）
集積場所の地図、不法投棄物写真を持参
- ▶令和6年3月15日 不法投棄物撤去 出発式

奈良県、奈良県景観・環境総合センター、奈良県警察本部の各ご代表及び不法投棄物運搬車両の参加のもと、午前8時30分より橿原運動公園の大駐車場をお借りして出発式を開催し、各市町村の不法投棄物集積場所へ出発した。

撤去には協会員事業所の4トン車等のべ25台が参加し、奈良市・生駒市・山添村・平群町・斑鳩町・河合町・川西町・天理市・三宅町・上牧町・香芝市・広陵町・葛城市・宇陀市・御杖村・御所市・高取町・吉野町・東吉野村・五條市・下市町・川上村の計22市町村における不法投棄物 約100トン撤去し、協会員の処分場へ搬入した。

この活動は平成4年度より毎年実施しており、今回は第32回目にあたるが今後も奈良県の豊かな景観を守るために県と協力し、継続していく予定である。

(4) 労働安全衛生の推進

産業廃棄物処理業における労働災害の発生は、他業種との比較においても高い傾向にある。全産連では令和5年度から9年度までの5ヶ年を「産業廃棄物処理業における第3次労働災害防止計画期間」とし、着実な実施に向けた取り組みが進められている。

まず本年度は労働安全衛生活動の現状を把握するため、協会員の中でも中間処理および最終処分業者のご協力を頂き、アンケート形式で調査を実施した。対象36社のうち17社からご回答があり、結果については全産連へ報告をした。

来年度についてはこの結果も踏まえ、各事業所における日常的な安全衛生活動と啓発を図るため、労働安全衛生講習会（協会員向け）等の実践的な労働安全教育を実施する予定である。

(5) 災害廃棄物処理体制への協力・支援

- ▶奈良県災害廃棄物対策【図上演習】への参加

平時から大規模災害に備え、災害廃棄物対策のスキルアップを図るとともに、協定等に基づき毎年奈良県主催で市町村および協定締結団体と処理体制の確認を目的とする教育・訓練である。

今年度もオブザーバーとして会長、副会長、事務局で参加した。
演習のねらいとしては、初動期（直後と1週間以内）において重要な災害廃棄物対策についての習熟にある。

令和6年2月13日 奈良県市町村会館 大研修室にて開催

<演習概要>

奈良県内で台風による水害が発生し、県内8市町村で被害が発生と想定した演習を実施した。

- ・発災直後の指揮命令体制の確立や被災状況の情報収集
- ・発生3日後の災害廃棄物等の収集体制の構築と一次仮置場の設置・運営

<協力要請>

当協会への協力要請としては、災害廃棄物の撤去、収集・運搬、処理・処分に対して当該市町村から協力の依頼を受ける。

尚、奈良県と当協会は、「地震等大規模災害時における災害廃棄物処理等の協力に関する協定書」を平成21年8月25日に締結している。

(6) 適正処理促進のための情報提供及び相談への対応

協会員、協会員以外の処理業者及び一般県民多数からの産業廃棄物及び一般廃棄物（処理困難物）の適正処理についての相談及び廃棄物の処理方法、許可取得手続き、紙マニフェスト、委託契約書の記載方法等についての質疑の照会に対応し、また必要に応じて行政担当部門と連携を図りながらこれらを積極的に実施した。

(7) 「きれいに暮らす奈良県スタイル」推進協議会への参画

この協議会は、奈良ならではの美しい景観や持続可能な社会を構築するため、“オール奈良”による全県的な実施活動を誘発・促進する推進母体として平成28年に設立され、以降毎年参画している。

- ▶令和5年6月 5日 環境パトロール出発式へ参加（奈良県庁 正面玄関前）
- ▶令和6年1月29日 総会（奈良ホテル 大和の間）
新会長の選出：山下真 奈良県知事（野田部長推薦）
表彰式（きれいな奈良県づくり功労賞）
- ▶きれいに暮らす奈良県スタイルジャーナル（環境政策課発刊）協会員へ配布

(8) 「奈良県循環型社会推進協議会」への参画

奈良県は国を代表する歴史文化遺産や豊かな自然環境に恵まれており、これらの貴重な財産を守り活かしながら、次の世代に引き継いでいかなければなりません。そのため県では、環境への負荷ができる限り低減される持続可能な社会、いわゆる「循環型社会」の実現を目指し様々な取り組みを進めています。

この協議会はその一環として、県民・事業者・行政がそれぞれの役割を果たしながら

ら連携し、「3R」を推進していくために設置されています。

今年度もこの構成委員として、また委員公募評価員として参画しました。奈良県リサイクル認定製品の審査や奈良県廃棄物処理計画事業の進捗などを議事として協議されています。

（ 協議会委員公募評価員・・・川崎会長
協議会委員・・・松本副会長 ）

2. 情報関連事業

(1) 各種情報を収集・提供するために各種行事への参加及び各種事業を行った。

① 全産連の下記会議等行事(対面及びWeb会議)に参加した。

令和5年5月16日 第1回マニフェスト推進委員会
6月16日 第13回定時総会
6月28日 第1回建設廃棄物部会運営委員会 (Web会議)
8月24日 第1回全国正会員事務局責任者会議 (Web会議)
10月 3日 第2回建設廃棄物部会運営委員会 (ハイブリット会議)
令和6年2月 7日 全国正会員事業研修
2月16日 第2回全国正会員事務局責任者会議(ハイブリット会議)
3月15日 第3回建設廃棄物部会運営委員会(ハイブリット会議)
(総務・倫理委員会は、令和5年度 開催なし)

（ 総務・倫理委員会・・・川崎会長
マニフェスト委員会・・・松本副会長
建設廃棄物部会運営委員会・・・伊藤副会長 ）

② 全産連 近畿地域協議会へ参加

- ▶令和5年 7月 7日 奈良県協会主催 (奈良ホテル)
講演：地球温暖化対策と金融市場の関係について
講師：近畿経済産業局 資源エネルギー環境部
カーボンニュートラル推進室 室長補佐 藤田 力 氏
議題：令和4年度決算報告、連合会表彰の推薦結果 等
全産連の活動、次回近畿地域協議会等について協議した
- ▶令和5年12月 1日 実務担当者会議 (Web会議)
議題：労働安全衛生の取組みに関する情報交換会について他
- ▶令和6年 1月30日 和歌山県協会主催 (ホテルグランヴィア和歌山)
 - ・情報交換：府県協会による労働安全衛生の取組みについて
 - ・情報提供：大阪府エコタウン新規公募について (大阪府環境農林水産部)
 - ・議題：全産連活動について
全産連功労者表彰及び優良事業所表彰の推薦 等を協議した

(2) 産業廃棄物処理についての業界情報・法律改正等の最新情報を提供するために下記の事業を行った。

- ① 正会員に日報ビジネス発行の「週刊 循環経済新聞」(日報ビジネス発行)を送付した。
- ② 賛助会員に全産連より毎月 5 日に発行される「インダスト」(産廃処理と資源循環の総合専門誌)を送付した。
- ③ 協会情報機関誌「クリーン・コミュニケーション第 32 巻」を 8 月に発行して、協会会員及び関係者に配布した。
- ④ 行政からの各種情報を郵送、協会HPへの掲載、F a x ・メール等で会員に連絡した。

(3) インターネット事業

協会ホームページへ行政関連や許可講習会、協会からのお知らせ、会員情報等を必要都度に応じて更新した。

(4) 第 1 1 回通常総会を開催

令和 5 年 5 月 2 5 日に橿原市商工経済会館 7 階で通常総会を開催した。

▶議案及び報告事項

第 1 号議案 令和 4 年度事業報告及び収支決算、監査報告について

第 2 号議案 役員補充選任の件

報告事項 1 令和 5 年度事業計画(案)及び収支予算(案)について

3. 表彰の実施

産業廃棄物の適正処理による県内環境保全の向上に寄与し、また事業活動を通して業界の発展に貢献された方や事業所、及び各事業所の発展に貢献従事された従業員にその功労をたたえ顕賞するため、当協会会長名による表彰を次の通り実施した。

▶表 彰 日：令和 5 年 5 月 2 5 日（橿原市商工経済会館 7 階）

表彰内容：功 労 者 表 彰 1 名
優良事業所表彰 2 事業所
優良従事者表彰 1 1 名

また、昨年度までに協会表彰を受けた中から、全産連表彰へ推薦し受賞された。

功 労 者 表 彰 1 名
優良事業所表彰 1 事業所
優良従事者表彰 4 名

4. 組織拡大事業

協会事業の継続的な推進の為には会員の増員が重要課題である。新規加入案内パンフレットを作成し、会員からの新規加入を薦めていただくようお願いした。また、同時に賛助会員の新規加入についても紹介加入を推進した。

5. 業務知識の向上

▶産業廃棄物処理実務者研修会

開催の要望または必要都度に応じて開催している実務者研修会だが、今年度は実施に至らなかった。令和6年度は、11月頃に実施予定である。

6. 奈良県より受託の「産業廃棄物適正処理促進研修実施業務」の開催

昨年度に引き続き奈良県よりプロポーザル方式で受託し、奈良県・協会共催研修事業として下記(1)・(2)の研修会を開催した。

今年度は新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが2類から5類へ変更されてから初めての研修会であったが、変化に対応しながら実施した。

募集案内についてもコロナ禍以前と同様に、近畿圏全域の事業者に送付した。

(1) 「産業廃棄物排出事業所管理者研修会」定員：150名

▶令和6年2月15日(13:00～16:30)に橿原市商工経済会館7階大ホールにて、近畿圏内の排出事業所など(受講申込者：221名、受講者：143名)を対象に下記の内容で研修会を実施した。

開会挨拶：奈良県 廃棄物対策課 高木 康人 課長
(一社)奈良県産業廃棄物協会 川崎 勝也 会長

講演①：廃棄物処理法の解釈・遵守・法令の変遷及び国通知について

講演②：産業廃棄物処理の管理事務(マニフェスト管理や現地確認等)について

講師：株式会社ユニバース 環境コンサルティング事業部 部長
主任コンサルタント 子安 伸幸 氏

講演③：アフターコロナにおける中小企業の人財戦略

講師：西野中小企業診断士事務所 代表 西野 友浩 氏

(2) 「優良処理事業者育成研修会」定員：100名

▶令和6年2月16日(13:00～16:30)に橿原市商工経済会館7階大ホールにて、奈良県を中心とする許可業者など(受講申込者：113名、受講者：84名)を対象に下記の内容で研修会を実施した。

開会挨拶：前日と同様

講演①：通知で確認する廃棄物処理法の実務～基本と最近の改正事項を中心に～

講師：公益社団法人 大阪府産業資源循環協会
専務理事・事務局長 龍野 浩一 氏

講演②：大栄環境グループにおける持続可能な社会の実現に向けた最新の取り組みについて

講師：株式会社 大栄環境総研 取締役 壺内 良太 氏

講演 ③：人的資源の育成と活用について

講師：有限会社オフィス・ビー 代表取締役社長
中小企業診断士 森 昭彦 氏

本年度のアンケートは、QRコード(Google フォーム) を活用し実施した。
また、講演をビデオ撮影してSDカードに記録し、会員から希望があれば貸与も可能とした。

7. 産業廃棄物管理票（マニフェスト）及び廃棄物処理委託契約書の頒布普及事業

マニフェスト及び委託契約書の頒布普及は、産業廃棄物の適正処理のため廃棄物処理法に基づき実施している公益事業であり、新たな利用者への説明も含めて頒布普及を行った。

8. 許可申請に関する講習会協力事業

JWセンター・全産連と連携を図り、申込者からの照会(申込方法等の案内)、試験会場の設営、講習会当日の運営協力等を行い、令和5年度 奈良県会場では下記のように開催をした。(全てオンライン講習会)

課 程	試験日（令和5年度）	参加人数
新規・収集運搬	6月22日	65名
	11月22日	82名
更新・収集運搬	6月22日、23日	140名
	11月22日	82名
特別管理産業廃棄物 管理責任者	6月23日	58名

コロナウイルス感染症による感染拡大防止策として定員数が減少されていたが、感染法上の位置づけが2類から5類へ移行されたことに伴い、令和5年7月以降に開催される講習会については徐々に定員が増加された。来年度(令和6年度)は、コロナ禍以前と同等程度になる予定である。

9. 青年部活動

奈良県青年部は、下記のような事業を実施した。

- 令和5年5月19日 令和5年度近畿ブロック通常総会（神戸神仙閣）
- 〃 5月25日 青年部第11回通常総会（橿原市商工経済会館7階）
- 〃 6月15日 全産連青年部協議会第24回通常総会（AP日本橋）
- 〃 9月4日 施設見学及び納涼会（伏見環境保全センター）
- 〃 9月29日 近畿ブロック スポーツ交流会・懇親会（大阪）
- 〃 10月27日 全産連青年部協議会第12回全国大会（九州大会）
- 〃 12月7日 NSK青年部ゴルフコンペ&忘年会(奈良万葉C)
- 令和6年1月26日 近畿ブロック賀詞交歓会（ホテル日航大阪）
- 〃 2月8日 全産連協議会第13回カンファレンス in 鳥取（米子）
- 〃 3月30日 三井昭彦氏 青年部卒業慰労会（奈良健康ランド）

10. その他の協力支援活動

県、市町村及びその他の団体の開催する環境・廃棄物等に関連する行事や活動について必要に応じ協力支援活動を行った。

(1) 家畜伝染病支援活動（県畜産課、家畜保健衛生所 主催）

▶令和5年10月11日 家畜伝染病防疫演習 家畜保健衛生所（大和郡山市）

<演習想定>

- ・奈良市内の養鶏場にて高病原性鳥インフルエンザ発生。
- ・死骸は10羽を40～45ℓの医療廃棄物密閉容器に詰め、さらにフレコンバックに入れコンテナ積載車両に積み込み搬出する。

<依頼内容>

- ・充填したフレコンバックを車両に積み下ろしするための車両（重機）、オペレーター及び玉掛け技能資格者の派遣

本年度は当協会より㈱I・T・O様に4tロールオン式コンテナ積載車両1台を派遣して頂き、フレコンバックの積み下ろしと走行を実施してフレコンバックの損傷の確認等に協力した。

尚、奈良県と当協会は、「特定家畜伝染病発生時における支援活動業務に関する協定書」を令和元年8月19日に締結している。

(2) 「奈良マラソン2023」鴻池陸上競技場等の廃棄物処分の協力支援活動

奈良マラソンは平城京遷都1300年を記念して行われており、2020年から新型コロナウイルス感染症対策のため縮小開催を余儀なくされていたが、14年目を向かえる2023年は12月9日（ミニマラソン）～10日（マラソン）の二日間に渡ってコロナ禍以前と同等規模で開催された。

平成25年度より当協会は協力支援活動を行っており、今年度も鴻ノ池運動公園施設内及びマラソンコース走路から排出されるペットボトル・廃プラスチック等や可燃ゴミの収集運搬及び処分の依頼を受けた。協会員のご協力を得てコンテナ設置、収集運搬及び処分について、依頼台数増加の状況下であってもスムーズに実施することができた。

12月 7日 コンテナの搬入設置

中央広場（東）：6台、中央広場（西）：4台、野球場：2台

10日 マラソンコース：パッカー車2台

11日 コンテナの搬出（12台）

可燃物：奈良市環境清美工場へ

その他：南部環境開発株式会社へ